



# 草加松原ロータリークラブ

ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度 国際ロータリーのテーマ ロータリーは機会の扉を開く



## 9月15日の例会記録

- ◆ お客様 米山奨学生 徐 緒隆 君
- ◆ 会長あいさつ 木村博行会長

皆さんこんばんは、渡辺さん、秋田さんこんばんは、見えていますか！今の音楽を聴いていまして、ジーンとしました。このような普段と違うような状況になった時に、やはりロータリアンとしてどのような行動をとるのかということで、今日は渡辺さんと、秋田さんがzoom参加という事で参加をしていただいておりますけど、この草加松原ロータリークラブは前身の草加RC・草加ERCで草加RCから数えると50年以上の歴史があるという伝統のあるクラブです。それがこのような危機の中で皆さん集まってロータリー活動をしているという事に私は勇気を貰うような感じを受けながら歌っておりました。

今日はゴルフがあって、私は早めに帰ってきてしまったのですが、うちの社員に所長の仕事はこんなにありますと、ドーンと机の上に置かれましたけど、それも我らの生業という事で少し仕事をしてきました。ゴルフはゴルフで、私と一緒に回っていた横山先輩が終わって見たら優勝という事で良かったとホッとしました。私と廻ったおかげでえらいことになったかなと思いましたがメンツを保っていただいたので、また次回、私の片腕の加藤さんがリベンジすると言っています

## 第401回 例会 9月29日 草加市文化会館

### ＊＊本日のプログラム＊＊

開会点鐘	幹事報告
ロータリーソング	委員会報告
四つのテスト	SAA報告
お客様紹介	出席報告
会長挨拶	閉会点鐘

ガバナー公式訪問例会リハーサル

ので皆さんチャレンジして下さい。

最近zoomセミナーをまだまだやっています。ロータリーの歴史、正直聴いていると眠くなることもありますが、その中に我々の大切なものもあると思いますし、今日の大久保先生の卓話の中にはヒントがあるような気がしますので楽しみにしております。宜しく願い致します。

### 幹事報告

### 加藤芳隆幹事

皆さんこんばんは、今日は2点幹事報告をさせていただきます。

\*「7月九州豪雨災害義捐金」という事で、募金をさせていただきました。草加松原RCは¥39,000、第9Gでは、¥149,000、第2770地区合計は、¥2,466,306で第2720地区。第2770地区に送金したとのことです。

\*10月6日ガバナー公式訪問がございます。9月29日はリハーサルという事で、会場は3階の第1会議室で行います。全員参加という事です。委員長さんは発表がありますので宜しく願い致します。例会終了後には理事会がありますので宜しく願い致します。



## 国際ロータリー第2770地区第9グループ

# 草加松原ロータリークラブ

会長：木村 博行  
幹事：加藤 芳隆

例会日：毎週火曜日 19:00～20:00

例会場：草加市文化会館

事務局：草加市青柳 8-56-21

TEL/FAX 048-967-5315

PC : sokamatsubara@abelia.ocn.ne.jp





# 卓話 草加宿

大久保雄司会員

私の少年時代と言いますと、戦争を少しだけ体験した最後の世代だと思うのです。今日も来る車の中で田川さんに言われたのですが、「みんな並んで行ったよね！」それぞれ、隣組というのか、子ども達が集まって、整列して隊を作って学校に行っていました。私はあまり覚えてなかったのですが、「途中で空襲警報が鳴ってびっくりしたよ

ね」との話に私はあまり覚えていないが、学校に門に兵隊さんがいて、最敬礼をして入って行くと奉安殿(ホウアンデン)というのがあって、年長者の班長さんが「〇〇何班ただ今〇〇名到着しました」というようなことを報告してそれぞれが教室に入っていくという事は覚えています。一番覚えているのは、小学校の2、3年の頃だったと思いますが、初めてお弁当を持って遠足に行ったこと、嬉しくて・嬉しくて非常によく覚えています。ゆで卵などめったに食べられない時代でしたから！それが今は川口市になっていますが、安行の峯の八幡様というところに行ったのです。その近くに貝塚があって、みんな夢中になって縄文時代に昔の人が食べた貝殻が山のようになっている。川口市の方々にある。それが珍しくて拾ってきた。という事が一番の子ども頃の最大のイベントでよく覚えています。ただそれが何年生の頃のことかは覚えていません。

後遠足で行ったのは、越谷の久伊豆神社で歩いていきました。バスに乗って行ったのは横浜辺りの衣笠山と言った公園だったと思います。それが初めてのバスに乗って行った旅行で5年生だったと思います。そういう時代を過ごしたものですから、高校・大学に入った辺りかな、古代史に突然取りつかれて、色々な遺跡を見て回るのが趣味になってしまいました。

今日は何を話そうかと思っていたら、毎日のように市役所の建て替えでグラグラとしています。それを見ていて、役所では「草加宿」の話がされている人もいるし、「草加宿」も見ると影もなくなってきていると感じたものですから、何かの参考になればと思い、資料を作ってみました。

年代順にあったこと、このようなことで「草加宿」と言われています。草加の町ができましたという事を読んでいただければわかると思います。

私の子ども達は、草加の町を作ったと言われる「大川図書」という人のことを良く知っている。それは、小学校の時にみんな東福寺に行って、草加の町を作った大川さんのお墓という事を学校で行って、子ども心に興奮して話していたことを聴いていたものですから、そうなのかと思っております。

峯の八幡様は草加の元祖みたいなところ。「草加」というのを古い文献ではっきりと出ているわけではないのですが、鎌倉の鶴岡八幡宮の古文書に今は違うことを言うのだそうですが、

## 1192年(建久3年) 鎌倉幕府開始

1192年(いいくにつくる)と覚えています。鎌倉幕府ができた年です。その年に谷古宇村というところから50町歩余りを八幡宮に寄付するという事を認可したという事が書いてある。「谷古宇村」も草加の基みたいな所です。草加消防署の近くに谷古宇橋や谷古宇町会がありますが、昔の谷古宇村の名残りです。古文献の地名や人名に、谷古宇、矢古宇、谷古田など出てくるのは、みな同じと考えられています。川口市東本郷の台地上に、谷古田城(岩槻城の出城で、小田原城の支配下)がありましたが、谷古宇村はその支配下。

1590年(天正18年) 秀吉が小田原の北条を滅ぼし、全国統一、家康に関東一円を与えた(美川等の旧領と引換え)徳川家康は江戸城に入った。関東一円を地業割り。1万石以下の旗本は江戸城から1泊以内の地に配置、軍事力のある1万石の者を外周の城持ち。旗本の伊奈忠次は関東郡代に任じられた。2代目の忠治以降は、赤山(現川口市)に陣屋を置き、11代が家中騒動で廃絶するまで続いた。

草加宿開設の基礎づくりに活躍した大川図書は、小田原の北条に仕えていた。小田原城が滅亡して転々とした後、関東郡代伊奈忠次の知遇を得、谷塚村に土地を与えられた。後、宿篠葉村に移った。その屋敷は、昭和初期まで続いた。図書の弟も分家して屋敷を構え、明治時代には、天皇の行在所にもなったが、近年マンションの敷地になってしまった。

1592年(天正20年) 関東郡代伊奈忠治は、利根川改修工事に着手、以後50年間に、江戸幕府は、6・7回の大工事を行い、利根川の河口を東京湾から銚子へと流路を変えたほか、荒川等も流路を変更し、新利根川も開削した。

代或いは代官 代理人、代務者の意味。中世では守護代、地頭代などの役職名が有名。近世では幕府諸藩で農村支配のために置かれた役人。幕府領では五万～十萬石の地域を管轄化にし、年貢の徴収、法令伝達、訴訟審理、犯罪者処罰、戸口把握、鉱山や山林の管理等まで行った。

関東郡代は、各藩の領地を除く関東一円の幕府領を統治する重大な役職。

1600年(慶長5年) 関ヶ原の戦い 1601年(慶長6年) 東海道に伝馬制度

1603年(慶長8年) 江戸幕府開始

1604年(慶長9年) 家康の鷹狩りの休憩所、越谷御殿を建設

慶弔年間に大川図書、長沼を理立、のちに草加宿になる辺りと、旧瀬崎村の間は沼地になっていて、一部区間は船で渡っていた。

1615年(元和1年) 豊臣滅亡 1616年(元和2年) 家康死亡 1617年(元和3年) 日光東照宮建立

元和年間に、大きく蛇行する綾瀬川の流路を変更、蒲生村から現在の直線路に改削。その他、寛永年間に綾瀬川の支流、伝右川が堀削され、草加宿開設準備が進んだ。

1630年(寛永7年) 9ヶ村をもって草加宿を開設する旨が認可。

宿を形成した9ヶ村【内は現在の町名】(完全に一致しない)

吉笹原【吉町・手代町】

谷古宇【中央・高砂・住吉・神明】

原島【西町】

南草加(庄左衛門新田)【氷川町】

弥惣右衛門新田【栄町】

立野【西町】

北草加(太郎左衛門新田)【草加】

与左衛門新田【栄町】

宿篠葉【松江町】

1634年(寛永11年) 大名の妻子は江戸に移住することを義務化

1635年(寛永12年) 大名の参勤交代を制度化、草加を通過する大名は40藩くらい

将軍家の日光社参は岩槻城下を通る日光御成門、多いと二、三千人の大行列

1649年(慶安2年) 4代将軍家綱が草加宿を使って、日光社参、300人の大行列

草加宿駅の設置前、大川図書が埋め立てた大きな沼地があり、馬が通れないため、浅草から松戸、越谷へと伝馬継立をしていた。大名の参勤交代が制度化されたり、日光東照宮が建立され、家康の忌日等に多数の参拝者が予想されるため河川を渉る回数を少なくし、なるべく直線路線ということで、千住、草加、越谷の伝馬継立てが決められたものと思う。

家が一軒もない田地の中、南の龍光寺から、北は慶蔵院までの間を宿村予定地とし、道路、宅地を造成、北から南へ一丁目から六丁目に区分けした。各丁内をさらに細分して番地を付け、9ヶ村に割り振った。ある丁を、ある町に割り振るのではなく、例えば三丁目一番地は、吉笹原、二番地は立野、三番地は与左衛門新田といった具合に、地名が入り組んでいた。高砂、住吉、神明といった地名になるのは、明治時代になってからである。

草加宿駅を担うのは、9ヶ村から選ばれた百姓達である。百姓は、本来、皇族・奴隷を除く万民の意味だが、中世になると侍に対する一般人の身分呼称となり、荘園制が発達し百姓の多くが農業に従事するようになると、百姓は土地を所有する農民を意味するようになった。百姓は、所持する土地が属する村の自治権を持っているが、その村以外に住むことはできなかった。そのため、9ヶ村が協同して運営する宿駅は、他の町名(村名)にするわけにはいかず、丁目割をしたうえで、各丁の中を細分し、各村に割り振り、村名と地番を付けた。

**伝馬駅** 伝馬とは、古代からある運輸、通信の制度

主要道路の一定間隔(約16<sup>キロ</sup>)毎に馬、人足、宿泊施設(無い所も)を常設する。駅を置き、公用の人(役人等)官物(税としての米も官物)、行政文書を継ぎ立て運ぶ制度。

伝馬はある駅から最終目的地まで行くのではなく、隣の駅までである。次の駅、次の駅と引き継いで運ぶ制度である。農民が納税品としての米を運んだり、税としての労働力提供のため、指定地へ向かうのは公用であるから、宿駅で食糧を支給された(自炊)帰りはこうでなく自弁とされたので、餓死す者も出るため、到着地で帰りの米を支給されるようになった。(紙幣制度、商業が未発達のため、途中で食糧を買うことができない)

\* 伝馬駅は公的機関だが、宿施設の設置、運用、馬の購入費・えさ代など一切が地元負担。

\* 伝馬継立を利用するのは公用 → 無料(有料の運送、有料の宿泊が認められるのは商業が発達してから)

\* 負担軽減の訴え。夜逃げする宿駅の役職者が多発

**伝馬制を巡る最大の農民一揆**

埼玉県内、中山道沿いの村民では、明和元年(1764年)前年の朝鮮通信使渡米に伴う費用を賦課されたため、度重なる負担増加に反対し、農民一揆が発生した。本庄、深谷、熊谷の各宿場を襲い、江戸を目指した。鎮撫を命ぜられた伊奈関東郡代は、上尾宿にて政策の全面撤回を示し、江戸への波及を食い止めた。

一揆参加人数は20万人とも言われ、参加した村落が幕府領、旗本領、諸藩領にまたがり、近世最大規模の一揆であった。

**宿場町**

町を(ちょう)と呼ぶ場合は、「町人」すなわち商人や手工業者で、家、屋敷を所有する者の地縁的共同体を意味している。町人は百姓とならび、近世の代表的な身分呼称で、地縁共同体の様々な役を負担する義務があった。町人の家族や従業員、或いは商人等でも借家の者は町人と呼ばなかった。

町を「まち」と呼ぶ場合は、宅地、屋敷等の集積からなる空間を意味するが、中世後期以降は、「まち」は「ちょう」の集合体を意味するようになる。「まち」が1か所では、街村、まだ村である。

複数の町「まち」の代表が集まって町組(ちょうくみ)の自治組織が出来るようになれば、中都市、町組の代表が集まる惣町(そうちょう)の組織が出来るようになると大都市です。京都の上京区、下京区などは、昔の惣町で、現在の区名に引き継がれている例です。

宿場町とは、宿駅に指定された町、或いは町の一部が指定された町という意味、特に、その町の経済が伝馬継立や宿泊業に依存する度合いが高い場合宿泊町という。

草加の場合、伝馬継立に指定された時点では、街「まち」は存在せず、9ヶ村が共同で引き受けている。新たに伝馬駅施設や伝馬制の諸役を引き受けるべき人(駅子)が移住すべき町(ちょう)の区域を新たに造成した。

町内に家屋敷を持たない者は、伝馬駅の役職にはつけないし、口出しもできない。住民登録をし、実際に移住していないと、市長や議員に立候補できないし投票権もない、現在の自治法と同じです。

1681~1684年(天和年間) 関東郡代伊奈佐衛門は綾瀬川改修に伴い、松並木を植樹した。

1689年(元禄2年) 松尾芭蕉「奥の細道」の旅に出発

- 1713年(正徳3年) 毎月5, 10の日、月6回の市が開かれるようになった。
- 1868年(明治1年) 江戸城も明け渡し、江戸は東京と改称
- 1870年(明治3年) 平民にも苗字、戸籍法制度は翌年
- 1871年(明治4年) 廃藩置県、埼玉は大小取り混ぜ22件に分かれる。(ほぼ現在の埼玉県になるのは明治9年)
- 1872年(明治5年) 4丁目に郵便局開局
- 1889年(明治22年) 大日本帝国憲法発布。市町村制実施。草加町となる
- 1899年(明治32年) 8月に東武鉄道開通 1918年(大正7年) 電話線架設
- 1921年(大正10年) 東武鉄道複線化 1955年(昭和30年) 町村合併(草加町、谷塚町、新田村)
- 1958年(昭和33年) 市制施行。人口34,878人
- 1962年(昭和37年) 地下鉄日比谷線乗り入れ 草加松原団地入居開始
- 1965年(昭和40年) 旧・市庁舎完成、現在建て替え中
- 1968年(昭和43年) 人口10万人突破。工業団地完成 1989年(平成元年) 人口20万人突破

地名の由来(埼玉県地名辞典から大略)

**草加町** 草加の意味は明らかでない。日下(くさか)が草下、草加と転じたもの、との説がある。日下部は春日部と同じく、品部(しなべ)の一つで、日下部の人々が住んだ所が日下である。

品部は、古代朝廷で特定の職業集団として組織された集団

**谷塚町** 谷は低湿の地を意味し、塚は古墳を意味する。「新編武蔵国風土記稿」に、この地に古塚あり、塚の上に稲荷を祀っていると記している。

**新田村** 明治22年の市町村制施行にあたり、合併する9ヶ村の殆どが江戸時代の新田であったことによる。

新田は新しく開墾した田畑の意味で江戸時代に開かれた土地を言う

**安行村** この土地を開発した中田安斉入道安行と言う者の名を持って村名とした。

(大字名花栗・苗塚と大字北谷・小山・原の一部が草加に編入された)

**青柳、柿木** 明治の町村制施行により、旧4ヶ村から成り立った川柳村から、青柳、柿木の2村が草加町に編入された。いずれもその地に柿、柳の木があったことからつけられた自然地名である。

**八條村** 王朝時代の条里制の地名で、本郡(南埼玉郡)と北足立郡とを東西に貫通した八條に掃討する場所であった。大字立野堀(現、稲荷町)が草加に編入された。

## 今後のプログラム

- 10/6 中里ガバナー公式訪問例会 第1会議室
- 10/13 誕生祝・結婚祝 中央公民館
- 10/20 卓話 山崎秀美会員 レセプション

## 9月15日 ニコニコBOX

金額	17,000円	累計	119,000円
9月15日 出席報告			
会員総数	39	出席	16
出席免除	5	MU	9
出席適用	34	出席率	73.53

## 徐 緒隆君へ奨学金

こんばんは、先週初めて大阪に行ってきたのですが、心齋橋から道頓堀をずっと歩いていたのですが、日本という感じでなく、建物が立体に作られていて、インパクトを強く受けました。大阪にまた行きたいです。



- 木村 博行会長** 大久保先生、今日は楽しみです。宜しく願います。ゴルフは相変わらずでした。山口商店の参加賞のビール券をいただきました。次回がんばるぞ！
- 加藤 芳隆幹事** 大久保会員の卓話を楽しみにしています。宜しく願います。今日のゴルフコンペ、お疲れ様でした。
- 飯山 英彦会員** 大久保会員、卓話ありがとうございました。
- 牛山 信康会員** 草加松原ロータリークラブ主催ゴルフコンペで準優勝できました。ありがとうございます。ドラコンも久しぶりにいただきました。大久保先輩のお話楽しみにしています。
- 大久保雄司会員** 9月の半ば、さすがの猛暑も和らいだようです。
- 川井 大輔会員** 大久保会員の卓話楽しみです。
- 篠宮 時雄会員** 大久保会員卓話ありがとうございます。
- 田川 富一会員** 残暑も和らぎ虫のさえずりがにぎやかです。大久保さんの卓話、楽しみです。
- 田中 和郎会員** 明日、菅新内閣が発足します。期待しましょう。大久保会員卓話ありがとうございます。
- 富永 悟会員** 大久保開アイン、貴重なお話をありがとうございます。
- 長谷部健一会員** ゴルフコンペお疲れ様でした。大久保会員の卓話を楽しみに来ました。宜しく願います。
- 松田 龍美会員** 御世話になります。本日の大久保会員の卓話、楽しみにしております。
- 横山 正一会員** 今日の親睦ゴルフコンペで優勝いたしました。天気にも恵まれ楽しい1日を過ごしました。